

ハンガリー

2021年10月8日

海外調査部・ブダペスト事務所

2020年の貿易は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い輸出入ともに減少した。輸出は主力の自動車産業における各メーカーの工場稼働停止などが響き前年比4.2%減、輸入も生産活動の停滞に呼応するかたちで5.8%減となった。対内直接投資では電気自動車(EV)用バッテリー関連分野が引き続き活発だった。対日貿易は輸出が0.7%減、輸入が18.1%減となった。日本からの投資も自動車関連が目立ち、ハンガリー政府の投資補助金を利用する日本企業も複数みられた。

■下半期から自動車の輸出は堅調に回復

2020年の貿易は、輸出が前年比4.2%減の1,044億9,000万ユーロ、輸入は5.8%減の986億9,500万ユーロと、ともに大きく減少した。輸入額の減少幅の方が大きかったこともあり、貿易黒字は前年から14億6,100万ユーロ増の57億9,500万ユーロとなった。

輸出を品目別にみると、最大品目の自動車など道路走行車両(部品を含む、構成比16.3%)が前年比12.0%減の170億4,300万ユーロと大きく落ち込んだ。新型コロナ禍における世界規模での生産調整が行われたことや、新型コロナの蔓延防止を目的とした外出規制措置がとられた影響で2020年3月下旬からマジェール・スズキやメルセデス・ベンツ、アウディ、オペルといった主要自動車メーカーが約1カ月間生産を停止したことが影響した。これにより自動車産業における2020年4月の輸出は前年同月比78.1%減にまで大きく落ち込んだ。しかし、その後需要が戻り、8~12月にかけて自動車の輸出額は前年同月を全て上回った。

表1 ハンガリーの主要品目別輸出入

(単位: 100万ユーロ、%)

	輸出 (FOB)				輸入 (CIF)				
	2019年 金額	2020年 金額	2020年 構成比	2020年 伸び率	2019年 金額	2020年 金額	2020年 構成比	2020年 伸び率	
道路走行車両	19,365	17,043	16.3	△ 12.0	電気・電子機器	15,515	14,850	15.0	△ 4.3
電気・電子機器	14,217	14,945	14.3	5.1	道路走行車両	10,507	9,257	9.4	△ 11.9
通信・録音機器	9,513	9,578	9.2	0.7	通信・録音機器	6,368	6,535	6.6	2.6
発電機器	8,429	7,361	7.0	△ 12.7	一般機器	6,029	5,453	5.5	△ 9.6
医薬品	5,615	6,277	6.0	11.8	医薬品	4,434	5,432	5.5	22.5
一般機器	4,813	4,519	4.3	△ 6.1	発電機器	4,604	4,195	4.3	△ 8.9
事務用機器・コンピューター	4,143	4,186	4.0	1.0	事務用機器・コンピューター	3,472	3,535	3.6	1.8
雑製品	3,012	2,797	2.7	△ 7.1	金属製品	3,671	3,381	3.4	△ 7.9
科学・制御機器	2,900	2,637	2.5	△ 9.1	雑製品	3,483	3,192	3.2	△ 8.4
金属製品	2,459	2,275	2.2	△ 7.5	科学・制御機器	1,954	2,786	2.8	42.6
合計(その他含む)	109,095	104,490	100.0	△ 4.2	合計(その他含む)	104,761	98,695	100.0	△ 5.8

[注] EU 域外貿易は通関ベース、EU 域内貿易は各企業のインボイス報告などに基づく。

[出所] ハンガリー中央統計局

輸出を国・地域別にみると、全体の8割強を占める欧州(構成比84.2%)が前年比4.6%減となった。中でも、多くの大手自動車メーカーの組み立て工場をハンガリーに有するドイツ(27.9%)が3割弱を占め、最大の輸出先となった。ドイツ向け輸出は3.4%減となったものの、道路走行車両の38.1%、電気・電子部品の37.0%、発電機器の41.6%が同国向けであり、依然重要な輸出先となっている。欧州域外で最大の輸出先の米国(3.0%)は2.1%増だった。アジア最大の輸出先は中国(1.7%)で、20.9%増と輸出全体が低迷する中で大幅な伸びを示した。2018~2019年にかけて輸出額が大きく減少

した同国向け道路走行車両が3.1倍の3億3,600万ユーロに回復した。

輸入を品目別にみると、最大品目は電気・電子機器（構成比15.0%）で、前年比4.3%減となった。次に輸入額が大きい道路走行車両（9.4%）も11.9%減と大きく減少した。他方、新型コロナの影響などもあり、医薬品（5.5%）が22.5%増と大幅に増加した。

輸入を国・地域別にみると、全体の4分の3を占める欧州（構成比74.5%）が前年比7.5%減だった。最大の輸入元であるドイツ（24.7%）が8.0%減、オーストリア（5.8%）が10.7%減となった。主要相手国が減少する中、中国（7.8%）が20.4%増と伸びた。また、韓国（3.5%）も26.3%増となった。対中輸入は、精密機器が前年比5.8倍の9億6,600万ユーロ、繊維製品が2.3倍の3億8,800万ユーロとなり、これらは新型コロナに関連した人工呼吸器やマスクとみられる。また、ロシア（2.2%）は46.6%減と大幅な減少を見せた。石油製品やガスなどエネルギー関連の減少が響いた。

2021年第1四半期の貿易は、輸出が前年同期比6.3%増の295億6,300万ユーロ、輸入が3.9%増の269億8,300万ユーロだった。輸出では電気・電子機器が前年同期比17.6%増、2019年の同期比でも29.2%増を記録した。

■引き続きEV関連でアジアから活発な投資

ハンガリー国立銀行によると、2020年の対内直接投資（国際収支ベース、ネット、フロー）は前年比10.1%減の26億530万ユーロだった。

業種別にみると、サービス業向けが13億5,870万ユーロと、製造業の12億3,400万ユーロを上回った。サービス業の内訳は専門・科学・技術分野への投資が顕著で、前年の引き揚げ超過から9億1,830万ユーロに転じた。製造業の内訳は化学・化学製品分野で前年比2.9倍の5億1,520万ユーロとなった。

国・地域別にみると、EUのうち、ベルギーからが顕著で、前年の引き揚げ超過から13億6,630万ユーロに転じた。ハンガリー国立銀行によれば、企業のグループ内貸付の増加によるとしている。欧州ではスイスが前年比61.0%増の9億5,030万ユーロとなった。

2020年に発表された主な対内直接投資案件では、2019年に引き続きアジアからのEVバッテリー関連の投資案件が多かった。韓国の斗山グループが2020年10月にEVバッテリー用銅箔の第2工場の建設に2億500万ユーロを投資すると発表した。また、中国のセムコープも2020年11月にバッテリー用セパレーターフィルムの生産設備に1億8,300万ユーロを投資すると発表した。

2020年の対外直接投資（国際収支ベース、ネット、フロー）は前年比20.0%増の24億3,170万ユーロ

表2 ハンガリーの主要国・地域別輸出入

(単位：100万ユーロ、%)

	輸出 (FOB)				輸入 (CIF)			
	2019年 金額	2020年 金額	2020年 構成比	伸び率	2019年 金額	2020年 金額	2020年 構成比	伸び率
欧州	92,213	87,937	84.2	△ 4.6	79,432	73,501	74.5	△ 7.5
EU	84,702	80,735	77.3	△ 4.7	75,677	69,881	70.8	△ 7.7
ユーロ圏	64,541	61,802	59.1	△ 4.2	59,034	53,998	54.7	△ 8.5
ドイツ	30,214	29,174	27.9	△ 3.4	26,471	24,361	24.7	△ 8.0
スロバキア	5,724	5,575	5.3	△ 2.6	5,136	4,609	4.7	△ 10.3
イタリア	5,601	5,439	5.2	△ 2.9	4,540	4,098	4.2	△ 9.7
オーストリア	5,040	4,541	4.3	△ 9.9	6,440	5,750	5.8	△ 10.7
非ユーロ圏	20,160	18,933	18.1	△ 6.1	16,643	15,883	16.1	△ 4.6
ルーマニア	5,516	5,417	5.2	△ 1.8	2,845	2,566	2.6	△ 9.8
ポーランド	4,621	4,275	4.1	△ 7.5	6,050	5,694	5.8	△ 5.9
チェコ	4,677	4,186	4.0	△ 10.5	5,188	4,993	5.1	△ 3.8
英国	3,594	3,235	3.1	△ 10.0	1,748	1,471	1.5	△ 15.9
アジア・大洋州	4,345	4,493	4.3	3.4	14,604	17,152	17.4	17.4
中国	1,486	1,796	1.7	20.9	6,384	7,687	7.8	20.4
日本	626	621	0.6	△ 0.7	1,469	1,203	1.2	△ 18.1
ASEAN	640	607	0.6	△ 5.2	2,075	2,634	2.7	26.9
韓国	338	419	0.4	24.1	2,719	3,435	3.5	26.3
北米	3,276	3,332	3.2	1.7	2,226	2,108	2.1	△ 5.3
米国	3,050	3,113	3.0	2.1	2,162	2,042	2.1	△ 5.6
ウクライナ	2,133	1,950	1.9	△ 8.6	1,612	1,274	1.3	△ 21.0
ロシア	1,808	1,665	1.6	△ 7.9	3,989	2,130	2.2	△ 46.6
合計 (その他含む)	109,095	104,490	100.0	△ 4.2	104,761	98,695	100.0	△ 5.8

[注] ① EU 域外貿易は通関ベース、EU 域内貿易は各企業のインボイス報告などに基づく。

② アジア・大洋州は、ASEAN + 6（日本、中国、韓国、オーストラリア、ニュージーランド、インド）に香港、台湾を加えた合計値。

[出所] ハンガリー中央統計局

表3 ハンガリーの業種別対内・対外直接投資
 <国際収支ベース、ネット、フロー>

(単位: 100万ユーロ、%)

	対内直接投資			対外直接投資		
	2019年		伸び率	2020年		伸び率
	金額	金額		金額	金額	
サービス業	247.8	1,358.7	448.3	842.2	1,452.2	72.4
専門・科学・技術	△ 17.7	918.3	—	141.1	631.0	347.1
小売・卸売・車両修繕	440.4	375.4	△ 14.8	△ 39.0	△ 3.7	—
運輸・倉庫	936.5	186.3	△ 80.1	5.6	18.3	225.8
情報通信	162.0	139.5	△ 13.9	326.5	△ 26.8	—
金融・保険	111.8	131.8	17.9	1,008.4	781.8	△ 22.5
宿泊・飲食	233.0	△ 5.0	—	18.8	0.4	△ 97.9
不動産	△ 555.6	△ 233.1	—	310.2	86.1	△ 72.3
製造業	2,536.9	1,234.0	△ 51.4	308.1	45.3	△ 85.3
化学・化学製品	180.6	515.2	185.2	14.2	18.4	29.4
電子・光学機器、コンピューター	615.2	315.8	△ 48.7	188.1	178.8	△ 4.9
電気機器	727.1	180.5	△ 75.2	C	1.5	—
ゴム・プラスチック	389.3	99.8	△ 74.4	29.0	12.6	△ 56.5
基礎金属・金属加工製品	△ 44.7	87.0	—	53.0	28.4	△ 46.5
繊維・衣料品・皮革製品	16.8	48.6	189.9	C	△ 0.2	—
食品・飲料・たばこ	31.4	28.9	△ 8.0	4.2	10.6	154.5
その他の非金属鉱物製品	111.3	6.0	△ 94.7	12.8	1.8	△ 85.7
医薬品	△ 201.9	2.7	—	△ 176.0	△ 226.6	—
コークス・石油	3.5	△ 23.7	—	42.3	93.5	121.0
木材・製紙	239.4	△ 47.7	—	12.7	△ 3.5	—
機械	168.7	△ 126.8	—	1.5	1.9	23.0
自動車・輸送用機器	454.2	△ 129.9	—	175.5	△ 93.0	—
農業、狩猟、林業	19.1	13.7	△ 28.4	13.7	△ 0.8	—
上水道、下水道、廃棄物管理	3.2	△ 2.8	—	2.1	0.7	△ 65.8
鉱業、採石	△ 26.8	△ 9.7	—	452.5	859.9	90.0
建設	51.6	△ 92.9	—	12.7	98.8	677.6
電気、ガス、ステム、空調	△ 249.1	△ 293.3	—	△ 28.2	△ 2.9	—
合計(その他含む)	2,898.9	2,605.3	△ 10.1	2,025.6	2,431.7	20.0

[注]「—」は負の値に関わる伸び率。「C」は該当企業が3社未満のための非公表。
 [出所] ハンガリー国立銀行

表4 ハンガリーの国・地域別対内・対外直接投資
 <国際収支ベース、ネット、フロー>

(単位: 100万ユーロ、%)

	対内直接投資			対外直接投資		
	2019年		伸び率	2020年		伸び率
	金額	金額		金額	金額	
EU	920.8	△ 130.2	—	1,686.9	2,840.2	68.4
ユーロ圏	279.4	154.7	△ 44.6	642.5	1,846.3	187.4
ベルギー	△ 797.7	1,366.3	—	△ 0.5	△ 0.6	—
ルクセンブルク	674.0	497.7	△ 26.2	△ 163.4	874.1	—
フランス	259.7	424.4	63.4	8.5	△ 64.4	—
オーストリア	616.2	392.2	△ 36.3	△ 21.0	△ 14.2	—
アイルランド	△ 1,368.3	148.9	—	△ 1,005.2	81.6	—
オランダ	461.5	△ 290.4	—	1,134.6	1,242.2	9.5
イタリア	171.5	△ 487.0	—	△ 24.4	57.5	—
ドイツ	618.4	△ 1,936.2	—	△ 0.3	△ 69.3	—
非ユーロ圏	641.4	△ 284.9	—	1,044.4	993.9	△ 4.8
デンマーク	61.9	116.0	87.3	C	△ 0.1	—
ルーマニア	109.1	96.8	△ 11.3	226.4	△ 5.7	—
スウェーデン	106.9	36.6	△ 65.8	122.8	△ 171.6	—
スイス	590.4	950.3	61.0	△ 264.7	△ 738.2	—
英国	744.6	569.0	△ 23.6	14.6	19.2	31.3
ロシア	123.1	△ 6.9	—	94.1	△ 39.7	—
米国	△ 778.5	△ 147.5	—	39.2	123.4	215.2
韓国	755.9	466.5	△ 38.3	△ 1.6	2.4	—
日本	288.2	257.2	△ 10.8	1.7	2.1	20.8
香港	△ 60.1	230.8	—	△ 23.8	△ 24.1	—
シンガポール	6.7	58.4	773.1	△ 98.3	16.3	—
中国	134.5	51.2	△ 61.9	△ 1.4	△ 2.9	—
合計(その他含む)	2,898.9	2,605.3	△ 10.1	2,025.6	2,431.7	20.0

[注]「—」は負の値に関わる伸び率。「C」は該当企業が3社未満のための非公表。
 [出所] ハンガリー国立銀行

表5 ハンガリーの主な対内直接投資案件 (2020年1月~2021年1月)

<M&A以外>

業種	企業名	国籍	時期	投資額	概要
電子部品	SK イノベーション	韓国	2021年1月	22億9,000万ドル	SK イノベーションはハンガリーで3つ目の工場となるEV用バッテリー工場をブダペスト南方のイバンチャに建設することを発表。2,500人の新規雇用創出を見込む。2021年後半に建設開始予定。
電子部品	斗山(トサン)	韓国	2020年10月	2億5,000万ユーロ	斗山は2022年までにハンガリーに第2工場を建設することを発表。タタバニャでEV用バッテリーの鋼箔を生産する。
電子部品	セムコープ	中国	2020年11月	1億8,300万ユーロ	セムコープは東部デブレツェンにリチウムイオン電池用セパレータフィルムを生産設備投資計画を発表。2023年から生産開始予定。同社にとって中国以外での初の生産拠点となる。
食品	ネスレ	オランダ	2020年10月	1億4,000万ユーロ	ネスレは1億4,000万ユーロを投資し、西部ブークのペットフード工場の生産能力を増強することを発表。これにより160人の新規雇用を創出する。新たな生産ラインは完全に自動化される予定。
電子部品	ロッテ・アルミニウム	韓国	2020年2月	1億3,300万ユーロ	ロッテ・アルミニウムはバッテリー用のアルミ負極箔工場をタタバニャに建設することを発表。欧州のEV用電池市場に供給する。

<M&A>

業種	被買収企業(事業)		買収企業		時期	投資額	概要
	企業名	企業名	企業名	国籍			
金融	ネットリスク	TA アソシエーツ	米国	2020年1月	5,500万ユーロ	米大手プライベートエクイティTA アソシエーツはハンガリー大手オンライン保険仲介企業ネットリスクの株式の一部を5,500万ユーロで取得することを発表。オランダのMCIユーロベンチャーズから取得する。	
電力	エーオン・エネルギーケスケデルミ	アウダックス・レノバプレス	スペイン	2020年9月	非公表	スペインのアウダックス・レノバプレスは独エーオンのグループ企業でハンガリーで電力販売を行うエーオン・エネルギーケスケデルミの全株式の取得を完了した。	

[出所] 各社発表および報道などから作成

となった。

■補助制度を利用して多くの日本企業が追加投資

2020年の対日輸出は前年比0.7%減の6億2,100万ユーロ、対日輸入は18.1%減の12億300万ユーロだった。輸出は最大品目の道路走行車両(構成比38.5%)は前年比6.5%減となったが、医薬品

表6 ハンガリーの主な対外直接投資案件 (2020年)

＜M&A 以外＞					
業種	企業名	投資先国	時期	投資額	概要
再生可能エネルギー	オプティマムソーラー	ロシア	2020年11月	24億ルーブル	ハンガリーの太陽光発電関連企業は太陽光電池パネル製造工場の建設を発表。100人の新規雇用を創出する。
エネルギー	MOL	ロシア	2020年9月	1,300万ドル	ハンガリーの大手エネルギー企業はロシアのタタルスタン共和国に地場の大手企業タトネフトと共同でゴムアスファルトプラントを建設することを発表。
医療機器	サナトメタル	ロシア	2020年8月	3億5,000万ルーブル	ハンガリーの医療用インプラントメーカーはロシア・カールガ州の製造工場に3億5,000万ルーブルを投資することを発表。また、2021年1月にはさらなる生産設備を拡大、製造能力を強化する計画を発表。

＜M&A＞						
買収企業 企業名	被買収企業 (事業)			時期	投資額	概要
	業種	企業名	国籍			
MOL	エネルギー	ACG, BTC	アゼルバイジャン	2020年4月	15億7,000万ドル	MOLは米同業のシェブロン・グローバル・ベンチャーズおよびシェブロンBTCパイプラインとの間で、アゼリ・チラグ・グナシュリ (ACG) 油田の参加権益9.57%およびトルコ・セイハン港までのBTCパイプラインの8.9%の出資シェアを含む契約への調印を完了。これにより同社は1日当たり2万バレルの石油をセイハン港まで輸送できる。
マスタープラス	建設資材	LHB	ドイツ	2020年5月	非公表	マスタープラスは、ヘルスケアや建設業界向けの特殊ポリスなどを生産するドイツ企業の工場取得のため、ドイツのパートナーと新たに設立した合弁会社の50%の株式と独占的経営権を取得。
アウトワッリス	自動車取引	A コスモス	スロベニア	2020年10月	非公表	アウトワッリスはスロベニアの自動車商材卸会社A コスモスを買収、同国での独BMW製品の販売事業の取得を完了。
MVM	エネルギー電力	イノジー・チェコ	チェコ	2020年10月	非公表	ハンガリーの国営エネルギー企業MVMは独エネルギー大手E.ONから、チェコの電力・ガス関連企業イノジー・チェコの買収を完了。
ネットリスク	金融・保険	クリックボイシユテニ	チェコ	2020年5月	非公表	ネットリスクはチェコのベンソンオークキャピタルから、チェコの保険代理店クリックボイシユテニの全株式を取得した。

〔出所〕各社発表および報道などから作成

(10.6%)、有機化学品 (8.1%) など他の上位品目の増加が、道路走行車両の減少分を相殺した。輸入は、新型コロナ禍に伴う生産停止が影響して部材などの輸入が減少し、(24.2%)、電気・電子機器 (22.2%)、発電機器 (15.5%) がそれぞれ15.0%減、23.3%減、15.2%減の大幅減となった。

表7 ハンガリーの対日主要品目別輸出入<通関ベース>

(単位: 100万ユーロ、%)

	輸出 (FOB)					輸入 (CIF)			
	2019年		2020年			2019年		2020年	
	金額	金額	構成比	伸び率		金額	金額	構成比	伸び率
道路走行車両	256	240	38.5	△ 6.5	道路走行車両	342	291	24.2	△ 15.0
医薬品	60	66	10.6	9.8	電気・電子機器	349	268	22.2	△ 23.3
有機化学品	32	50	8.1	58.2	発電機器	219	186	15.5	△ 15.2
事務機器・コンピューター	40	45	7.3	12.1	一般機械	173	125	10.4	△ 28.0
科学・制御機器	18	28	4.5	52.5	通信・録音機器	42	49	4.0	16.5
電気・電子機器	31	26	4.3	△ 15.5	非金属鉱物製品	41	39	3.3	△ 3.0
通信・録音機器	24	20	3.2	△ 18.0	特殊産業用機械	41	34	2.8	△ 17.0
発電機器	15	20	3.2	28.6	金属製品	41	27	2.2	△ 34.3
一般機械	25	17	2.8	△ 31.4	科学・制御機器	36	24	2.0	△ 31.9
雑製品	30	15	2.5	△ 49.1	化学材料・製品、その他	11	19	1.6	66.8
合計 (その他含む)	626	621	100.0	△ 0.7	合計 (その他含む)	1,469	1,203	100.0	△ 18.1

〔出所〕ハンガリー中央統計局

2020年の日本からの投資は前年比10.8%減の2億5,720万ユーロだった。主な投資案件として、TDKが2020年12月、41億フォリントを投資し、ソンバトヘイ工場のEV、ハイブリッド車向け製品の生産ラインを追加・更新することを発表した。デンソーは2021年1月、34億4,740万フォリントを投じ、セーケシュフェールバールで自動車向けエンジンの生産を拡大することを発表した。ダイヤモンド電機も同月、8億4,656万フォリントを投資し、エステルゴム工場のエンジン部品生産設備を拡大することを発表した。ハンガリーでは新型コロナ感染拡大に伴う経済対策の一環として、雇用維持を条件に企業の投資に対し政府が補助金を提供しており、前述の3社も含め、複数の日本企業がこの制度を利用し、投資を行っている。

2021年4月には繊維メーカーのセーレンが約55億円 (152億フォリント) を投じ、自動車用合成皮革のシート材の生産工場を南部のペーチに建設することを発表、2020年11月の欧州進出検討から4カ月という短期間で進出の意思決定を行った。この要因として、同社は現地政府から投資額の3割にあ

たる46億フォリントが補助されること、9%という低い法人税率やスピーディーな許認可による支援を挙げた。

主要経済指標

	2018年	2019年	2020年
①人口：977万人（2020年）			
②面積：9万3,023km ²			
③1人当たりGDP：1万5,820米ドル （2020年、推計値）			
④実質GDP成長率（%）	5.4	4.6	△5.0
⑤消費者物価上昇率（%）	2.8	3.4	3.3
⑥失業率（%）	3.6	3.3	4.1
⑦貿易収支（100万ユーロ）	5,520	4,334	5,795
⑧経常収支（100万ユーロ）	408	△658	99
⑨外貨準備高（100万米ドル）	30,068	30,288	39,434
⑩対外債務残高（100万ユーロ）	74,820	75,242	78,807
⑪為替レート（1米ドルにつき、 フォリント、期中平均）	270.21	290.66	308.00

〔注〕⑦⑧：国際収支ベース、⑦：財のみ
 〔出所〕①②④～⑧：ハンガリー中央統計局、③⑨⑩：IMF、⑩：ハンガリー国立銀行

（お問い合わせ先）

海外調査部 欧州ロシアCIS課

ORD@jetro.go.jp